

全国一般全国協

2021年1月1日 No.155

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺 啓二

東京都港区芝2-8-13 KITAハム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL:<http://www.nugw.jp/>

Email:nugw@nugw.jp



12/29～年越し支援コロナ被害相談村
日本労働弁護団等が呼びかけ @新宿・大久保公園



声を上げ、ともに闘う21春闘へ!!

全国一般労働組合全国協議会 中央執行委員長

平賀 雄次郎

新型コロナウイルスの感染拡大は、収まる気配もなく全世界に拡大しています。日本では感染防止対策の無策・右往左往が続き第3波が拡大する中で、21年新年を迎えました。私たちの社会が危機にあることを心して新しい年の闘いを進めていく決意です。

待ったなしの生命と生活を守る闘い

いま、生命と生活を守る闘いは、待ったなしの状況にあります。コロナ感染拡大によって明らかになったことは、極めて深刻な社会・経済の分断と格差が進んでいた現実です。

低賃金労働をもたらす雇用流動化、安価なパート・女性・外国人労働者の活用

が進み非正規労働者が4割を占めています。社会保障が切り捨てられ、医療・年金・介護の弱体化・非正規の拡大・雇用流動化など社会の基幹部分やアフターネットの弱体化が進んでいたのです。

こうした状況で、コロナ危機・世界的パンデミックが発生しました。直面している医療崩壊の危機や失業者・生活困難者の拡大が、私たちを直撃しています

企業利潤を優先する産業政策・高所得優遇税制・大企業の膨大な内部留保を放置したまま、かつてない規模の国家財政出動が全世界で拡大しています。一方でコロナ禍の世界的サプライチェーン崩壊によって実体経済の後退がすすんでいます。

昨20春闘では賃金労働条件を労使団交渉ではなく使用者による労働者個人評価によって決定する事態を容認する動きが公然化しました。21春闘でもこの傾向が強まります。労働者の分断と格差拡大は、社員団を経営へ一方的に従属させるとともに低賃金・使い捨て労働者を外部化してきました。いつそうの労働者個別管理強化と世界大に展開する安価な労働力の拡大と使い捨て雇用が深化します。

そしていま、労働の現場では医療・介護・ライフラインの確保など社会に必要な労働・エッセンシャルワークが重要なことが明らかになっています。しかしこの部分に、非正規労働無権利状態が集中していま

す。倒産・廃業による失業の拡大も心配されます。いまこそ、底辺で働く労働者にも拡大しています。リモートとエッセンシャル、労働者の分断がすすみ共同の職場が失われます。労働時間管理を無視したりモート労働が蔓延すれば、雇用によらない労働、徹底した自己責任労働が押し付けられるになります。そのための労働法制の改悪も論議されています。

21春闘を出発点にした私たちの闘いは、悪化し続ける中小零細企業労働者の賃金・労働条件を大きく改善する闘いです。この間、賃金改悪が進まなかつたため非正規だけでなく中小零細企業の賃金もいまや法定最低賃金と背中合わせです。最低賃金アップが自らの賃金改善に不可欠な事態となっています。

全国協はこうした課題を組合員の皆さん、未組織労働者・非正規労働者の皆さ

のリモート労働は、第3次産業を中心とした中小企業労働者にも拡大しています。リモートとエッセンシャル、労働者の分断がすすみ共同の職場が失われます。労働時間管理を無視したりモート労働が蔓延すれば、雇用によらない労働、徹底した自己責任労働が押し付けられます。そのための労働法制の改悪も論議されています。

また同一労働・同一賃金均等待遇は、賃金水準の向上には欠かせません。昨年10月の労働契約法20条最高裁判決は、同一労働同一賃金に向けた下級審判決を覆し、賃金・退職金・一時金などの格差を是認するものです。今年4月には有期パート労働法改正が中小企業に拡大適用されます。法の不備を埋め合わせるのは現場の闘いです。労働時間の規制と管理を徹底させ同一労働・同一賃金の闘いを進めましょう。

スケジュール	
1/30(土)正午～31(日)正午	全国協・第26回各県代表者会議 @港区立男女平等参画センター「リーブラ」 (最寄JR田町駅/東京都港区芝浦1-16-1)
2/19(金)正午～	@東京大手町 東京けんり総行動・経団連抗議行動
2/27(土)正午～	@本部芝事務所 全国協第3回中央執行委員会

新年のごあいさつ

8時間働けば暮らせる社会の実現を!!

全国労働組合連絡協議会

議長

渡邊 洋



新年あけましておめでとうございます。
2021春闘に向けた
闘いが始まっていますが、
コロナ感染拡大による経済の低迷を受けて、賃上げ要求は『浮世離れ』と

2021けんり春闘を、ともに全力で闘おう!!

中小労組政策ネットワーク 共同代表 中村 宗一



昨年末、中国・湖南省・武漢が発端の新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい、国内でも、いまだ終息の目処は立っていません。コロナウイルスは確かに人類共

II 外国人労働者等に襲い

挨拶と致します。

ちは、要求の否定が間違っていることに気が付かなければなりません。

自らの要求を控えるこ

とは、むしろ自らの劣悪な状況を、医療労働者や外国人技能実習生などに向かって強要していくことしかなりません。

いう批判、すなわち賃金要求それ自体の否定が、一部の労働組合から出されています。しかし、病院労働者がコロナ対応で不眠不休の活躍で心身の疲労が極限状態となる中で、病院経営の悪化を理由に賃金がカットされがんばった末に使い捨てられる冷酷な現実を目

げ要求は『浮世離れ』と当たりにしたとき、私たちに闘いましょう。

当たりにしたとき、私たちの敵ではありますが、人々を平等に襲うことはありません。富裕層よりも貧困層、資本家より労働者、テレワーク労働者よりも外に出ざるを得ないエッセンシャル・ワー

ト行動を進めて参ります。

全国一般全国協の仲間の皆さんとの御健勝と、ま

で、21けんり春闘で全労働者に同一賃金同一労働を!8時間働けば生活出来る賃金を!コロナ解雇・賃下げ反対!等を掲げ行動を進めて参ります。

新年明けましておめでとうございます。

私どもの関西地区生コン支部への不当弾圧に対する共謀罪を先取りした不當判決を下しました。また、12月には正社員化を求めた加茂生コン第1

全員の無罪判決を勝取るまで闘い抜く決意です

全日本建設運輸連帶労働組合 中央執行委員長 菊池 進



長は5月末に、湯川副委員長も6月初めに保釈され、全ての仲間を奪還することができました。これもみなさんのご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

事件でも京都地裁が有罪判決を下しました。しかし、私たちは決して屈しません。今後も弾圧裁判が続きますが、産業別労働組合活動の正当性、国家と権力・大阪広域生コン協組による組合つぶし攻撃の違法性をしっかりと訴えて仲間全員の無罪判決を勝ち取るまでたたかい抜いて行く決意です。

全国一般に結集される皆さんの引き継ぎのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

「今だけ・金だけ・自分だけ」とならないよう!!

全日本港湾労働組合

中央執行委員長

真島 勝重



上で、労働者の「今だけ・金だけ・自分だけ」とならぬ思想統一しなければなりません。すなわち、これが私たち全港湾の単一組織労働組合の理念であり、産業別労働運動の重要な取り組みであります。二〇二一春闘を取り巻く環境の厳しさは、現場で働く組合員が一番わかつていると理解していますが、頑張りましょう!

こんな時代だからこそ、労働組合が先頭に立って、春闘の重要性、賃上げはもちろのこと、様々な労働条件を勝ち取つていいという強い意識、意思統一が大事であります。これらは並大抵な事ではありませんが、決してくじけることなく、二〇二一春闘を団結して闘い抜くことを確信し、良き年になるよう心より祈念いたします。一緒に頑張りましょう!

働く者の顔が見え!! 声が聞こえるように!!

フォーラム平和・人権・環境 共同代表 藤本 泰成



会では、「答弁を控える」と百回以上繰り返し、学術会議会員の任命拒否の理由を答えるませんでした。

しかし、臨時国会後は「国会では何回となく質

問を受けて丁寧に答えてきた」と述べています。書き換え、隠ぺい、廃棄が繰り返されてきた安倍政権が終わり、さて、2021年は菅首相を見ていると、ああ！とため息が出てきます。臨時国

12/17 「21けんり春闘」が発足

「21けんり春闘発足総会」が11月27日に全水道会館で開催された。

50名が参加し、オンライン参加も併用された。

第一部に発足総会、第二部に学習集会と二部構成で行われた。

渡邊共同代表（全労協議長）があいさつをし、中岡事務局長が21けんり春闘の目標を提案し、全体で採択がされた。

最後に平賀共同代表

第二部の学習集会では大阪労働者弁護団の在間秀和弁護士が「20条裁判・コロナ・そして労働の未

来を！」と題した講演を行った。決意表明として、東京清掃労組の江森副委員長（官公労）、全港湾の真島委員長（民間）、そして郵政20条裁判の高裁報告を郵政ユニオンバロウで締め括り、21春

闘勝利を誓った。



11/27 けんり春闘発足集会 @東京・全水道会館

針を指し、そこで同音の「信（シン）」という言葉は、もしウソがあれば罰を受けると誓うことか

ら「まこと」の意味を持つとされます。2021年は「辛丑」の年、「辛」

は痛みを伴う幕引きを、「丑」は殻を破ろうとす

る命の息吹・希望を意味します。衆議院総選挙の年、「信」を失った政治に幕を引き、希望の時代を開こうではありませんか。



12/8 JR西大路駅前

年末一斉情宣



(きょうとユニオン服部)



12/10 JR佐野駅前

栃木



12/12 九段下交差点

12月8日、工場街に近いJR西大路駅前で、ユニオンネットワーク・京都の各労組から13名が参加してチラシを配布しました。コロナ感染を意識してビラを受け取らない人も多いかと思います。

今後は、QRコードを貼り付けて、非接触でビラを読めるようにしたらいいかも知れません。

(きょうとユニオン服部)

わたらせユニオンは、12月10日佐野ハローワーク前とJR佐野駅前で横断幕を掲げ、参加者5人で、情宣を行いました。

千代田区九段下の交差点で、情宣を行いました。最賃引上げや均等待遇を訴えました。ポケットティッシュに挟み込んだビラなので300枚はけました。

(東京労組・中村)

山口



12/13 ハローワーク山口前

宮城



12月23日、昼休みの街頭情宣に宮城全労協の仲間13名が参加してティッシュに入れたチラシ500枚を配布しました。（星野）

広がった共同の輪 教育関連労組

全国一般全国協議会の教育関連労組は11月5日に政府交渉を行なった。

今回は初めて、全国一



11/5 (左) ゼネラルユニオン浅利委員長

般全国協議会には加盟していない札幌地域労組との共同の取り組みとして行われた。

課題と対応省庁は以下の通り。(1)新型コロナウイルス感染の経験、現状と今後について・厚生労働省、(2)ALTの現状と未だ・文部科学省、(3)会計年度在用職員・総務省、(4)社会保険への加入要件:

厚生労働省、(5)無期転換に関する、「10年特例」、契約年数上限設定: 文部科学省。

毎年の交渉の積み重ねを反映して交渉には「儀礼的要素」が薄まり、政行法の時代遅れな部分を府側からの出席者が時折認めたり、出席者が「個人的見解」を述べるなど、実質的な会合として時間が経過した。

3時間程度で重要な5つもの課題のそれぞれを十分議論するのではなく不可能であって、今後はこうした点を工夫することが求められることとな

前に、障がい者の重度訪問は介護保険優先原則一律適用ではない、5円低い介護職賃金は全産業平均に近づけるのが望ましい、介護報酬引上げを求める立場、等々の公式見解を引き出し、現場の厳しさをぶつけた。

12/11 介護総がかり、コロナ禍で厚労省交渉に11人参加

12月11日、参議院会館で関西・東京の介護職など計11人が、厚労省と経産省に要望書を手渡し交渉した。



束された情報提供は交渉終了の約2時間後には送

ろう。なお、交渉中に約付されるなど、情報交換は確実に進んでいる。

12/20 韓国サンケン偽装解散撤回求め本社デモ2500人

付されるなど、情報交換は確実に進んでいる。

12/17

関西生コン「加茂生コン第1事件」 判決

12月17日の判決日、12時から、関生支部呼びかけの京都地裁前アピール行動が、約70名の参加で行われました。

2時からの判決は、子ども們の保育所に提出する就労証明を求めたことが脅迫未遂という不當極まりないもの。執行委員に懲役1年、組合員に懲役8か月、執行猶予各3年という信じがたい内容で

12/17 判決日に京都地裁前アピール行動を70人でおこなう

岩国反基地行動に初めて参加して、先ず感じた事は「日々忙しく生活をしているからつい忘れてしまっていた現実がこそ岩国にはある」という事でした。

反省する中で「差別や人権侵害が無くならないのは無関心からくるものである」という言葉を思い出しました。

く、関心を持つ事が大切な事だと想到了。それと、政府への危機感です。基地や軍備で平和は築けると本当に思つ

